

<<定例記者会見次第>>

令和8年1月13日(火)
午前10時00分～
議会全員協議会室

●発表事項

1. 小田原市民功労賞等の決定について (資料1)
2. 自動運転の実証実験開始について (資料2)
3. その他

(事務担当) 広報広聴室広報係 TEL33-1261

令和7年度 小田原市民功労賞等の決定について

小田原市民功労賞は、本市に関する学術・文化・教育・福祉など、さまざまな分野で功績のあった個人や団体に贈呈するものです。

また、小田原市民功労賞特別賞は、市民功労賞を一度受賞された方で、さらに本市に関する学術・文化・教育・福祉など、さまざまな分野で功績のあった個人や団体に贈呈するものです。

今年度の小田原市民功労賞が2個人に、また、小田原市民功労賞特別賞が1個人に決定しました。

※ 両賞は、市民の皆さんからの寄付金を基に設置した「小田原市褒章基金」で運営しています。

1 小田原市民功労賞受賞者（五十音順・敬称略）

・石綿 義弘（いしわた よしひろ）

平成24年度から小田原市遺族会会長を務められ、遺族会の追悼式や忠魂碑巡拝、市慰霊塔の月例清掃などの活動の他、市の慰霊祭や平和事業にも積極にご協力いただき、貢献されています。

会員の高齢化が進む中でも、年齢に見合った活動を模索し、継続できるように尽力されています。



・故 奥津 裕（おくつ ひろし）

平成15年度から令和2年度までの18年にわたり、小田原市公民館連絡協議会会長として、各種事業を取り仕切り、協議会加盟館長や協議会役員を取りまとめ役としてその手腕を発揮し、地区公民館活動の推進に大きく貢献されました。



2 小田原市民功労賞特別賞受賞者（敬称略）

・杵屋 響泉（きねや きょうせん）

400年近い歴史を持つ長唄の宗家に生まれ、長唄の三味線演奏家・師匠として長年活躍されてきました。平成31年には104歳160日でデビューアルバム「一〇五」^{いちまるご}をリリースし、ギネス世界記録に認定。現在は市内最高齢となる111歳を越え、長唄の普及と後進の育成に尽力されています。



3 贈呈式

日時 2月1日（日）午後1時30分～3時30分

場所 小田原三の丸ホール 小ホール（本町1-7-50）

自動運転の実証実験開始について

1 背景・目的

本市、県および(株)本田技術研究所は、自動運転技術の進化を図り、都市における交通課題の解決に向けた自動運転の実用化を目指すため、令和 7 年 3 月 31 日に「自動運転技術の実証実験に関する協定」を締結しました。

この協定に基づき、市内橘地域において、自動運転技術の実証実験を開始します。

2 実証実験の概要

- (1) 走行開始日 令和 8 年 2 月 2 日 (月)
- (2) 走行日時 月～金曜日、午前 9 時～日没まで (週 1～3 日程度)
※通学通勤等の混雑時間帯は控えての実施を基本とします。
- (3) 走行エリア 小田原市橘地域他 (2 ページ「4 ルート図」参照)
- (4) 走行車両 「CR-V」および「N-VAN e:」(2 ページ「5 自動運転車両」参照)
- (5) 自動運転レベル レベル 2 (令和 7 年度～)、レベル 4 (令和 9 年度～(予定))
- (6) 走行速度 時速 20 km～60 km

※ 実証実験は、自動運転レベル 2 (運転席に安全監視員が乗車) で、時速 20km の低速走行から開始します。安全性を確保しながら、順次走行速度を上げ、走行エリアを拡大させていきます。その後、自動運転レベル 4 (特定条件下における完全自動運転) で走行する予定です。

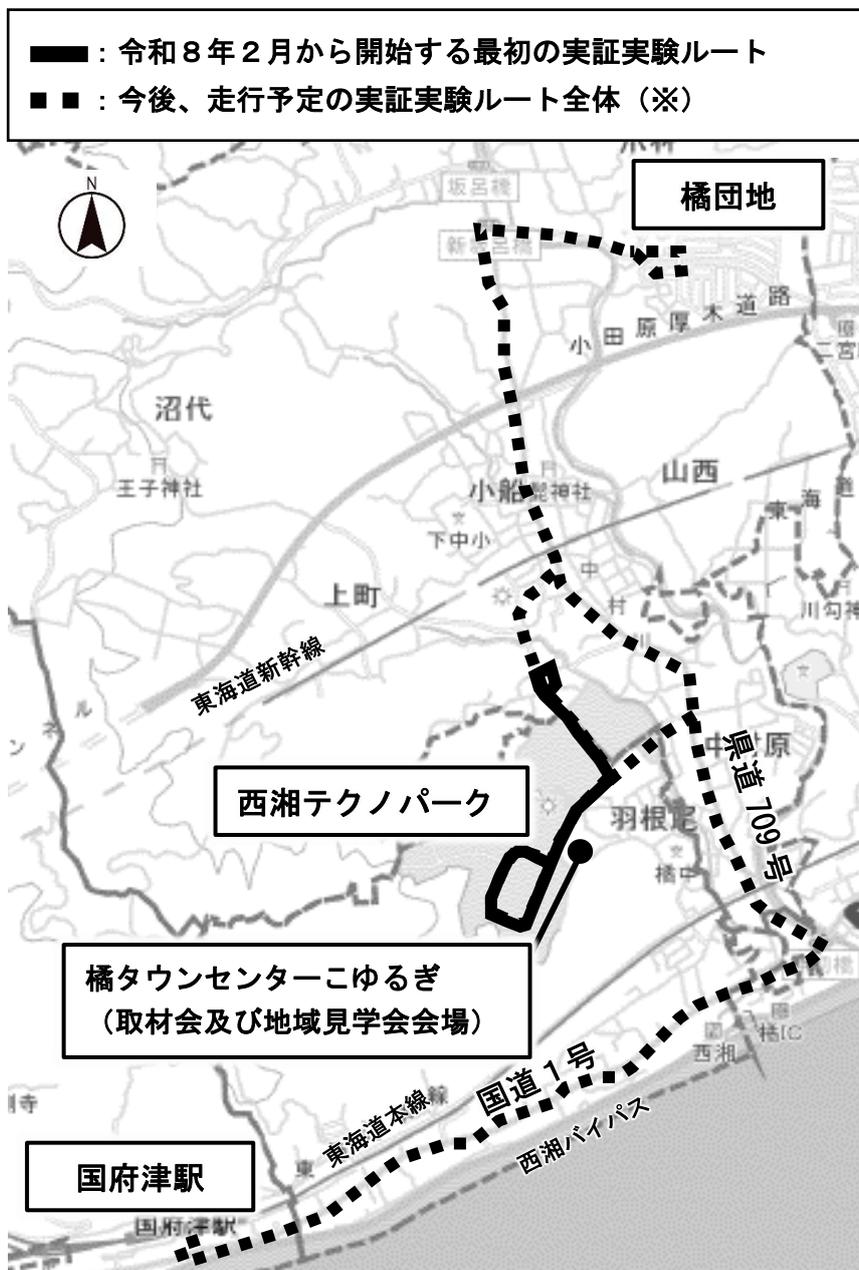
3 取材会および地域見学会について

次のとおり、報道関係者向けの取材会および地域住民向けの地域見学会を開催します。

取材会、地域見学会に参加を希望する場合は、2 月 12 日 (木) 午後 5 時までに地域交通課までご連絡ください。

- (1) 日時 令和 8 年 2 月 18 日 (水)
 - ① 取材会 (報道関係者) : 午後 1 時 30 分～2 時 30 分頃
 - ② 見学会 (橘地域住民) : 午後 3 時～4 時頃
- (2) 場所 橘タウンセンターこゆるぎ (小田原市羽根尾 281-3)
(2 ページ「4 ルート図」参照)
- (3) 内容 (株)本田技術研究所による自動運転技術の特長および実証実験の概要説明、実証実験ルートの一部でのデモ走行 (同乗不可) 等
- (4) 定員 見学会のみ 30 人・申込先着順
- (5) 問い合わせ先 小田原市地域交通課 (0465-33-1267)

4 ルート図



※ルート全体については、今後の関係機関等との調整により変更する可能性があります。

5 自動運転車両

(1) CR-V



(2) N-VAN e:(実証期間中に CR-V から移行予定)



※N-VAN e:は開発中につき、イメージ図